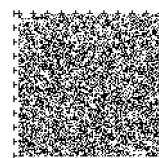




TOKYO 2020

G U I D E B O O K

東京 2020 大会 ガイドブック

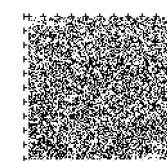
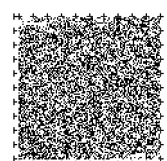


みんなの輝き、つなげていこう。 Unity in Diversity

目次

1	大会概要	2
2	オリンピック競技	4
3	パラリンピック競技	6
4	競技日程	8
5	会場計画	10
6	2回目のパラリンピック	16
7	復興オリンピック・パラリンピック	17
8	みんなで創る東京2020	18
9	安全・安心な大会に向けた新型コロナウイルス対策	20
10	聖火リレー	21
11	東京2020大会に参加する	22
12	文化プログラム	24
13	テクノロジー	25
14	持続可能性	26
15	スムーズビズの推進	28
16	未来への継承・レガシー	29
■	コラム	30
■	東京2020大会マーケティングパートナー	32

本冊子の情報は、2021年7月22日時点のものです。



東京1964大会から半世紀を経て、東京・日本に再びオリンピック・パラリンピックがやってきます。東京2020大会を通じて、世界中に興奮と感動を呼び起こし、「記録」と「記憶」が人々の心にいつまでも残るすばらしい大会としていきます。

大会スケジュール

正式名称 **第32回オリンピック競技大会(2020/東京)**

開催期間 **2021年7月23日(金)～8月8日(日)**

競技数 **33競技**

正式名称 **東京2020パラリンピック競技大会**

開催期間 **2021年8月24日(火)～9月5日(日)**

競技数 **22競技**

大会ビジョン

スポーツには 世界と未来を変える力がある。

1964年の東京大会は日本を大きく変えた。

東京2020大会は、

「すべての人が自己ベストを目指し（全員が自己ベスト）」、

「一人ひとりが互いを認め合い（多様性と調和）」、

「そして、未来につなげよう（未来への継承）」を

3つの基本コンセプトとし、

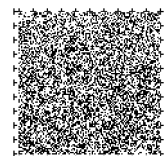
史上最もイノベーティブで、

世界にポジティブな改革をもたらす大会とする。

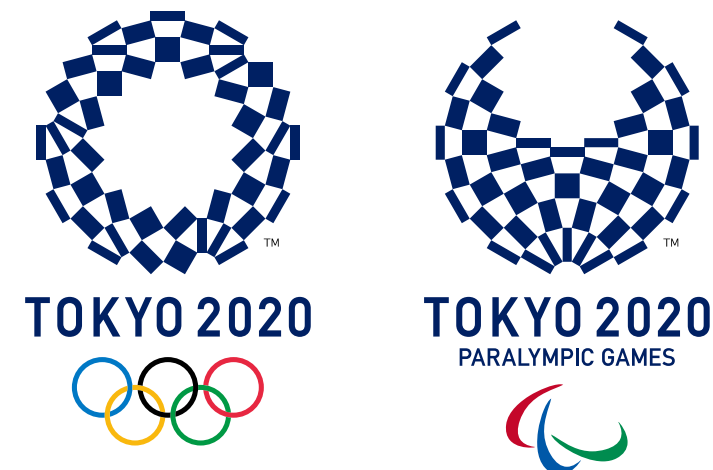
大会モットー

大会モットーとは大会ビジョンを研ぎ澄ましたメッセージで、東京2020大会が世界と共有したいアイデアやコンセプトの本質をとらえたものです。近年のオリンピック・パラリンピックにおいては、競技会場装飾や都市装飾、デジタルメディアで掲出されるなど、重要な役割を果たしています。

United by Emotion



東京2020エンブレム



くみいちまつもん
組市松紋

- 「市松模様」を、日本の伝統色である藍色で、粋な日本らしさを描きました。
- 形の異なる3種類の四角形を組み合わせ、「多様性と調和」のメッセージを込めました。
- オリンピックエンブレム、パラリンピックエンブレムとも、同じ45ピースの四角形から構成されています。

東京2020マスコット

東京2020オリンピックマスコット



ミライトワ
MIRAITOWA

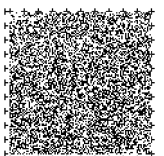
ミライトワという名前は、「未来」と「永遠(とわ)」というふたつの言葉を結びつけて生まれました。名前に込められたのは、素晴らしい未来を永遠にという願い。東京2020大会を通じて、世界の人々の心に、希望に満ちた未来をいつまでも輝かせます。

東京2020パラリンピックマスコット



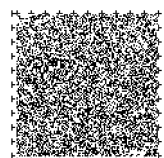
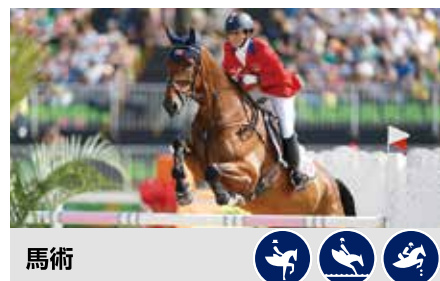
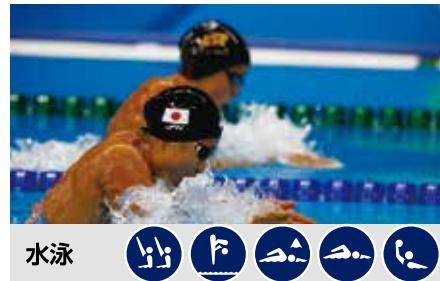
ソメイティ
SOMEITY

ソメイティという名前は、桜を代表する「ソメイヨシノ」と非常に力強いという意味の「so mighty」から生まれました。桜の触角を持ち、驚きの強さを見せるソメイティ。東京2020大会を通じて、桜を愛でる日本の心とパラリンピックアスリートの素晴らしさを印象づけます。



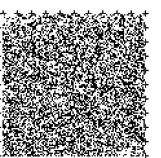
2 オリンピック競技

東京2020オリンピック競技大会では、33競技の開催が予定されています。本大会から、開催都市の組織委員会は、国際オリンピック委員会（IOC）に対し、その大会に限定した競技を追加実施する提案をすることができるようになりました。東京2020大会では、東京が提案した野球・ソフトボール、空手、スケートボード、スポーツクライミング、サーフィンの5競技全てがIOCに採択され、追加競技として実施することになりました。



詳しくはこちら

https://olympics.com/tokyo-2020/ja/sports/



3 パラリンピック競技

東京2020パラリンピック競技大会では、22競技の開催が予定されています。本大会から、バドミントンとテコンドーが実施競技として、国際パラリンピック委員会（IPC）に採用されました。



アーチェリー



陸上競技



バドミントン



射撃



シッティングバレーボール



水泳



ボッチャ



カヌー



自転車競技



卓球



テコンドー



トライアスロン



馬術



5人制サッカー



ゴールボール



車いすバスケットボール



車いすフェンシング



車いすラグビー



柔道



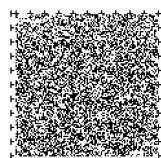
パワーリフティング



ボート



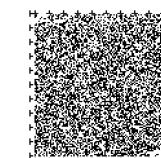
車いすテニス



詳しくはこちら

パラリンピック競技

<https://olympics.com/tokyo-2020/ja/paralympics/sports/>



4

競技日程

オリンピック競技スケジュール

競技	種別等	7月											8月							
		21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	1	2	3	4	5	6	7	8
		水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日
開会式・閉会式				○																○
水泳	競泳				○	🏊	🏊	🏊	🏊	🏊	🏊	🏊	🏊							
	飛込					🏊	🏊	🏊	🏊		○	○	🏊	○	🏊	○	🏊	○	🏊	
	アーティスティックスイミング													○	○	🏊		○	🏊	
	水球				○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	🏊	🏊
	マラソンスイミング															🏊	🏊			
アーチェリー				○	🏹	🏹	🏹	○	○	○	🏹	🏹								
陸上競技											🏊	🏊	🏊	🏊	🏊	🏊	🏊	🏊	🏊	🏊
バドミントン					○	○	○	○	○	○	🏊	🏊	🏊	🏊	🏊	🏊	🏊	🏊	🏊	🏊
野球・ソフトボール		○	○		○	○	○	🏊	○	○	○	○	○	○	○	○			🏊	
バスケットボール	3x3 バスケットボール				○	○	○	○	🏊											
	バスケットボール					○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	🏊	🏊
ボクシング					○	○	○	○	○	○	○	○	○		🏊	🏊	🏊	🏊	🏊	🏊
カヌー	スラローム					○	🏊	🏊	○	🏊	🏊									
	スプリント													○	🏊	○	🏊	○	🏊	
自転車競技	BMX フリースタイル											○	🏊							
	BMX レーシング									○	🏊									
	マウンテンバイク						🏊	🏊												
	ロード				🏊	🏊			🏊											
	トラック													🏊	🏊	🏊	🏊	🏊	🏊	🏊
馬術					○	○		🏊	🏊		○	○	○	🏊	○	🏊		○	🏊	
フェンシング					🏊	🏊	🏊	🏊	🏊	🏊	🏊	🏊	🏊							
サッカー		○	○		○	○		○	○		○	○		○	○		🏊	🏊	🏊	
ゴルフ										○	○	○	🏊			○	○	○	🏊	
体操					○	○	🏊	🏊	🏊	🏊	🏊	🏊	🏊	🏊	🏊			○	🏊	🏊
ハンドボール					○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	🏊	🏊
ホッケー					○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	🏊	🏊		
柔道					🏊	🏊	🏊	🏊	🏊	🏊	🏊	🏊								
空手																	🏊	🏊	🏊	
近代五種																	○	🏊	🏊	
ボート				○	○	○	○	🏊	🏊	🏊	🏊									
ラグビー							○	○	🏊	○	○	🏊								
セーリング						○	○	○	○	○	○	🏊	🏊	🏊	🏊					
射撃					🏊	🏊	🏊	🏊	○	🏊	🏊	🏊	○	🏊						
スケートボード						🏊	🏊									🏊	🏊			
スポーツクライミング															○	○	🏊	🏊		
サーフィン						○	○	○	🏊	◇	◇	◇	◇							
卓球					○	○	🏊	○	○	🏊	🏊		○	○	○	○	🏊	🏊		
テコンドー					🏊	🏊	🏊	🏊												
テニス					○	○	○	○	○	○	🏊	🏊	🏊							
トライアスロン							🏊	🏊				🏊								
バレーボール	ビーチバレーボール				○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	🏊	🏊	
	バレーボール				○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	🏊	🏊
ウエイトリフティング					🏊	🏊	🏊	🏊	🏊			🏊	🏊	🏊	🏊	🏊				
レスリング													○	🏊	🏊	🏊	🏊	🏊	🏊	

※記載の競技スケジュールは暫定版であり、今後の調整により、一部変更になる可能性があります。

パラリンピック競技スケジュール

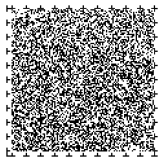
https://olympics.com/tokyo-2020/ja/paralympics/schedule/

競技	種別等	8月								9月				
		24 火	25 水	26 木	27 金	28 土	29 日	30 月	31 火	1 水	2 木	3 金	4 土	5 日
開会式・閉会式		○												○
アーチェリー					○	🏹	🏹	🏹	🏹		🏹	🏹	🏹	
陸上競技					🏹	🏹	🏹	🏹	🏹	🏹	🏹	🏹	🏹	🏹
バドミントン										○	○	○	🏹	🏹
ボッチャ						○	○	○	○	🏹	○	○	🏹	
カヌー	スプリント										○	🏹	🏹	
自転車競技			🏹	🏹	🏹	🏹			🏹	🏹	🏹	🏹		
馬術				🏹	🏹	🏹	🏹	🏹						
5人制サッカー							○	○	○		○		🏹	
ゴールボール			○	○	○	○	○	○	○	○	○	🏹		
柔道					🏹	🏹	🏹							
パワーリフティング				🏹	🏹	🏹	🏹	🏹						
ボート					○	○	🏹							
射撃									🏹	🏹	🏹	🏹	🏹	🏹
シッティングバレーボール					○	○	○	○	○	○	○	○	🏹	🏹
水泳			🏹	🏹	🏹	🏹	🏹	🏹	🏹	🏹	🏹	🏹	🏹	
卓球			○	○	○	🏹	🏹	🏹	○	○	🏹	🏹		
テコンドー											🏹	🏹	🏹	
トライアスロン						🏹	🏹							
車いすバスケットボール			○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	🏹	🏹
車いすフェンシング			🏹	🏹	🏹	🏹	🏹							
車いすラグビー			○	○	○	○	🏹							
車いすテニス					○	○	○	○	○	🏹	🏹	🏹	🏹	

暑さ対策

東京2020組織委員会は「TOKYO 2020 COOLING プロジェクト～暑さから身を守ろう～」を立ち上げ、選手向けや大会ボランティアを含む大会スタッフ向け、報道関係者向け等それぞれに、日除けスペースや冷風機設置等の施設整備、飲料供給、予防運営等きめこまかな暑さ対策の取組を進めています。

なお、新型コロナウイルス感染症対策としてのマスクの着用は、熱中症リスクの上昇など、暑さ対策に対しても影響を及ぼします。東京2020組織委員会は、専門家の意見を聞きながら、暑さ対策と感染症対策の両立を図っていきます。



5 会場計画

東京2020大会は、新規施設の他、東京1964大会のレガシー施設を含む多くの既存施設なども活用して、都内外の43会場で開催します。



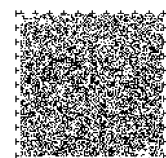
(本冊子記載の情報は2021年7月現在のものです)

■ オリンピック競技 ▲ パラリンピック競技

会場計画コンセプト

Infinite Excitement — 無限の可能性 —

東京2020大会の会場計画は、東京1964大会のレガシーを引き継ぐ「ヘリテッジゾーン」、都市の未来を象徴する「東京ベイゾーン」の2つのゾーンから構成されています。選手村を中心に広がる2つのゾーンは、無限大の記号をイメージさせます。東京2020大会を通じて、トップアスリートが灯した情熱と、次世代へつなげる可能性、そして語りつがれるレガシーが無限に広がっていくことを表しています。

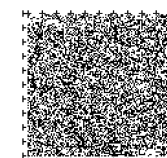


写真提供：(独)日本スポーツ振興センター

① オリンピックスタジアム

■ 開会式・閉会式／陸上競技／サッカー
▲ 開会式・閉会式／陸上競技

東京1964大会のオリンピックスタジアムであった国立競技場が、新しく生まれ変わりました。東京2020大会では、開会式・閉会式のほか、陸上競技やサッカーが行われます。大会後は各種スポーツ・文化関連イベントに使用される予定です。





2 東京体育館

■卓球
▲卓球

東京1964大会時に、メインアリーナで体操競技、屋内プールで水球が開催されました。1964年のオリンピックレガシーを有する施設のひとつです。



3 国立代々木競技場

■ハンドボール
▲バドミントン／車いすラグビー

東京1964大会時に水泳とバスケットボールの競技会場として使用するため、整備された施設です。高張力による吊り屋根に特徴がある建物で、現在でもオリンピックレガシーとして世界的に高い評価を受けています。

写真提供：独立行政法人日本スポーツ振興センター



4 日本武道館

■柔道／空手
▲柔道

東京1964大会では、初めて正式競技に採用された日本の国技・柔道の競技会場として、世界各国からの選手と観衆を集め、世紀の熱戦が連日展開されました。

©日本武道館



5 東京国際フォーラム

■ウエイトリフティング
▲パワーリフティング

首都東京の中心・丸の内には位置するコンベンション&アートセンター「東京国際フォーラム」は、大小8つのホール、34の会議室などからなる総合的な文化情報発信拠点です。



6 国技館

■ボクシング

日本の国技である相撲の聖地です。館内がすり鉢状になっており、観客は四方から中央で行われる競技を観戦することができます。



7 馬事公苑

■馬術（馬場馬術、総合馬術、障害馬術）
▲馬術

東京1964大会時に馬術が行われた場所です。1964年のオリンピックレガシーを有する施設のひとつです。現在は、馬事普及拠点になっています。



8 武蔵野の森総合スポーツプラザ

■バドミントン／近代五種
▲車いすバスケットボール

東京スタジアムに隣接する場所に新しく整備された施設です。10,000人以上収容可能なメインアリーナなどを有する総合スポーツかつ多目的施設です。



9 東京スタジアム

■サッカー／近代五種／ラグビー

サッカーをはじめ、多彩なイベントに利用されている多目的スタジアムです。



10 武蔵野の森公園

■自転車競技（ロード）

武蔵野の森公園は、大会時には自転車競技（ロードレース）のスタート地点として仮設施設が整備されます。公園の周囲には武蔵野の森が広がり、森の緑を背景として美しい景観が楽しめます。



11 有明アリーナ

■バレーボール（バレーボール）
▲車いすバスケットボール

有明北地区に新しく整備されるアリーナです。大会後は、15,000席の規模を活かし、東京の新たなスポーツ・文化発信拠点としていきます。



12 有明体操競技場

■体操
▲ポッチャ

有明北地区に仮設で整備される会場です。大会時には、約12,000人の客席数を有する競技場が建設される予定です。



13 有明アーバンスポーツパーク

■自転車競技（BMXフリースタイル、BMXレーシング）／スケートボード

選手村やIBC/MPC（東京ビッグサイト）からも近いウォーターフロントエリアの有明北地区に計画されています。アーバンスポーツの中心となる会場のひとつです。



14 有明テニスの森

■テニス
▲車いすテニス

センターコート「有明コロシアム」の他、ショーコート、インドアコート、屋外コートを備えた国内有数のテニス競技施設です。



15 お台場海浜公園

■水泳（マラソンスイミング）／トライアスロン
▲トライアスロン

海や緑の自然と、レインボーブリッジなどの未来的景観が融合した観光スポットである台場地区にある公園です。大会時には、仮設で競技会場が整備されます。



16 潮風公園

■バレーボール（ビーチバレーボール）

ウォーターフロントの象徴であるレインボーブリッジを背景に、東京湾の美しい景色を眺めることができる公園です。大会時には仮設で競技会場が整備されます。



17 青海アーバンスポーツパーク

■バスケットボール（3x3 バスケットボール）／スポーツクライミング

▲5人制サッカー

選手村からも近い青海エリアの敷地に、仮設で整備される会場です。東京湾が見える場所に位置し、世界中の若者をエンゲージする東京2020大会を象徴する会場のひとつです。



18 大井フットボール競技場

■フットボール

大井ふ頭中央海浜公園に整備される施設です。大会後は、フットボールをはじめ様々なスポーツを楽しめる多目的球場としていきます。



19 海の森クロスカン트리コース

■馬術（総合馬術）

東京湾のすばらしい眺めとドラマチックな都市景観を一度に楽しむことができる埋立地です。大会時には、馬術のクロスカンントリーコースが仮設で整備されます。



20 海の森水上競技場

■カヌー（スプリント）／ボート
▲カヌー／ボート

都心に近い東京の臨海部に新しく整備される国内初の人工コースの施設です。大会後は、アジアの水上競技の中心となる国際水準の競技場としていきます。



21 カヌー・スラロームセンター

■カヌー（スラローム）

葛西臨海公園の隣接地に新しく整備される国内初の人工コースの施設です。大会後は、様々な水上スポーツ・レジャーを楽しむ施設としていきます。



22 夢の島公園アーチェリー場

■アーチェリー
▲アーチェリー

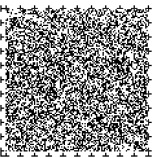
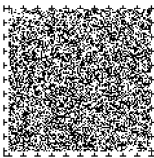
夢の島公園内にアーチェリー会場を整備します。大会後は、アーチェリーを中心に、多様な活用機会を提供する施設としていきます。



23 東京アクアティクスセンター

■水泳（競泳、飛込、アーティスティックスイミング）
▲水泳

辰巳の森海浜公園に新しく整備される施設です。大会後は、日本水泳の中心となる世界最高水準の水泳場としていきます。





24 東京辰巳国際水泳場
■水泳（水球）
東京都における水泳の中心的・象徴的施設としての役割を担う広域的な専門施設として設置されました。



31 陸上自衛隊朝霞訓練場
■射撃
▲射撃
東京1964大会時にも、この訓練場でライフル射撃競技が行われました。大会時には、オリンピック基準に適合した射撃の仮設施設が整備されます。



25 札幌大通公園
■陸上競技（マラソン／競歩）
札幌大通公園は、大会時には陸上競技（マラソン・競歩）の競技会場として、仮設施設が整備されます。大通公園は札幌市の中心部に位置し、長さ約1.5km、面積約7.8haにおよび、美しい花壇や芝生・樹木のほか、様々なイベント会場として、一年を通して多くの観光客や市民に親しまれています。



Photo by Koji Aoki/AFLO

32 霞ヶ関カンツリー倶楽部
■ゴルフ
緑豊かな武蔵野丘陵に広がるゴルフ場です。ゴルフ伝承の一端を担う設計者により設計された、80年以上の歴史を誇る施設です。埼玉県川越市にあります。



26 27 28 幕張メッセ
■テコンドー／レスリング／フェンシング
▲シッティングバレーボール／テコンドー／車いすフェンシング／ゴールボール
210,000㎡の敷地に「国際展示場」「国際会議場」「幕張イベントホール」の3施設で構成される複合コンベンション施設です。千葉県千葉市にあります。



33 江の島ヨットハーバー
■セーリング
東京1964大会時に使用するため、整備された日本初の競技用ハーバーです。1964年のオリンピックレガシーを有する施設のひとつです。神奈川県藤沢市にあります。



29 釣ヶ崎海岸サーフィンビーチ
■サーフィン
「世界最高レベル」ともいわれる良質な波を求めて多くのサーファーが訪れる海岸です。東京2020大会追加競技が行われます。千葉県長生郡一宮町にあります。



TrackDesign@Ralph Schurmann

34 伊豆ベロドローム
■自転車競技（トラック）
▲自転車競技（トラック）
国際自転車競技連合（UCI）規格の周長250m木製走路を有する屋内型自転車トラック競技施設です。静岡県伊豆市にあります。



30 さいたまスーパーアリーナ
■バスケットボール（バスケットボール）
スポーツイベント、コンサート、講演会などさまざまな用途に対応した国内最大級の多目的ホールです。埼玉県さいたま市にあります。



35 伊豆MTBコース
■自転車競技（マウンテンバイク）
全長4,100m、高低差が150mあるオフロードコースです。静岡県伊豆市にあります。



36 富士スピードウェイ
■自転車競技（ロード）
▲自転車競技（ロード）
首都圏に最も近い国際サーキットです。場内には、最新の国際レーシングコースに加え、レース関係者や報道関係者などが利用する施設についても最新の設備が導入されており、大規模な国際大会の運営に対応しています。



37 福島あづま球場
■野球・ソフトボール
「スポーツを楽しむ」「自然と憩い」「家族で楽しむ」「歴史散策」の4つのエリアを有する総合運動公園内にある野球場です。プロ野球公式戦、高校野球、社会人野球等の幅広い試合が開催されています。福島県福島市にあります。



38 横浜スタジアム
■野球・ソフトボール
横浜公園内にある日本初の多目的スタジアムです。日本のプロ野球チームの本拠地にもなっています。東京2020大会追加競技が行われます。神奈川県横浜市にあります。



©札幌ドーム

39 札幌ドーム
■サッカー
サッカーと野球のプロチーム2つの本拠地にもなっている施設です。日本最北にある全天候型ドームスタジアムです。北海道札幌市にあります。



2020年11月時点：選手村空撮

選手村

東京都中央区晴海に位置する選手村は、44ヘクタールの敷地に整備され、宿泊棟は、オリンピック開催時に18,000ベッド、パラリンピック開催時に8,000ベッドを確保する計画となっています。大会終了後、大会中に一時使用した宿泊棟は改修し、新たに建築する高層棟とともに、分譲等を行う予定となっています。



©公益財団法人宮城県スポーツ協会

40 宮城スタジアム
■サッカー
スタジアムの観客席を覆う大屋根は、仙台藩主「伊達政宗公」の兜飾りの三日月をデザインしています。陸上競技場兼サッカー球技場です。宮城県宮城郡利府町にあります。



41 茨城カシマスタジアム
■サッカー
本格的なサッカー専用スタジアムで、常緑の天然芝フィールドとスタンドのどこからでも観戦しやすい観客席を有しています。プロサッカーチームの本拠地にもなっています。茨城県鹿嶋市にあります。



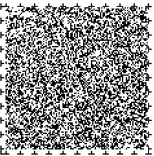
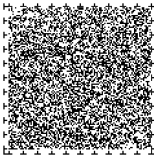
42 埼玉スタジアム2020
■サッカー
アジア最大級・日本で最大のサッカー専用スタジアムです。埼玉県さいたま市にあります。



43 横浜国際総合競技場
■サッカー
日本最大規模の72,327席の観客収容能力を誇る屋外多目的競技場です。神奈川県横浜市にあります。



IBC/MPC（東京ビッグサイト）
約265,700㎡の敷地に、展示ホール、国際会議場、レセプションホールなどを備える日本最大のコンベンション施設です。大会時には、報道・放送センターになります。



東京は、世界で初めて2回目の夏季パラリンピックを開催する都市であり、東京2020大会は、多様な人々が活躍しやすい社会を実現するための契機となる大会です。パラリンピックは、すべての人がお互いの人権や尊厳を大切に、支え合う共生社会の実現にむけて、社会のあり方を大きく変える力があります。

1964

「パラリンピック」という名称は、「オリンピック開催年にオリンピック開催国で行われる国際ストーク・マンデビル大会」＝「Paraplegia(対まひ者)」の「Olympic」＝「Paralympic」という発想から、東京1964大会の際に日本で名付けられた愛称でした。東京1964大会は、我が国の障がいのある方々の社会参加や自立を促す契機となりました。



提供：JPC



提供：JBFA

東京2020大会では、パラリンピックを成功させるとともに、都市のバリアフリー化や心のバリアフリーの浸透など、ハード・ソフト両面での取組を進め、障がいの有無に関わらず、誰もが生き生きと暮らせる都市を作り上げていきます。

2021

ノーリミッツ チャレンジ

ー パラリンピックの魅力を体感しようー

詳しくはこちら


<https://no-limits.tokyo/>

パラリンピック競技の体験を中心としたイベントです。

「失われたものを数えるな、残された機能を最大限に活かせ」という「パラアスリートの無限の可能性の追求」を表現する「NO LIMITS」と、参加型イベントであることを想起させる「CHALLENGE」の2つの言葉に由来しています。

パラリンピック競技を体験し、その魅力に触れてみましょう！



特別版として開催した「NO LIMITS SPECIAL 2018 東京丸の内」の様子



競技体験の様子

ー 東京都の取組 ー

チーム ビヨンド
TEAM BEYOND

詳しくはこちら


<https://www.para-sports.tokyo/>

パラスポーツを応援する人を増やすため2016年度から展開しているプロジェクトです。一人ひとりの個性が輝く未来を目指していくTEAM BEYONDの精神は、多様性を持った都市である「ダイバーシティ」につながるものです。スポーツをする人も、観る人も、支える人も、あらゆるメンバーが一つのチームとなってパラスポーツを盛り上げていきます。



2011年に始まった東京2020大会の招致活動では、スポーツの力が東日本大震災の被災地に夢と希望をもたらすことを訴えました。また、東京2020大会の開催決定後、熊本県等を大地震が襲い、甚大な被害がもたらされました。復興オリンピック・パラリンピックは東京2020大会の原点です。スポーツの力で被災地に元気と感動を届けます。そして、様々な困難を乗り越え、復興へと歩む被災地の姿を世界に発信し、支援していただいた人々に感謝を伝えていきます。東京2020大会では、被災地でのサッカーと野球・ソフトボールの開催や、有明アリーナへの復興祈念植樹、文化プログラムの開催等が予定されています。



サッカー：宮城スタジアム

聖火リレー

文化プログラム

野球・ソフトボール：福島あづま球場

オリンピック
競技の開催

復興祈念植樹

復興モニュメント

スポーツの力で被災地を元気に

被災地復興支援映像

スポーツを通じて元気を取り戻しつつある被災地の姿を収めた映像をご覧ください。

2020年と、その先の未来へ

<https://www.2020games.metro.tokyo.lg.jp/taikaijunbi/kanren/hisaiti2/>


2020年。東京と東北で会いましょう。

https://www.2020games.metro.tokyo.lg.jp/taikaijunbi/kanren/hisaiti_kumamoto/


2020年。東京と熊本で会いましょう。

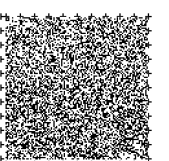
https://www.2020games.metro.tokyo.lg.jp/taikaijunbi/kanren/hisaiti_kumamoto/


若手アスリート参画プロジェクト

地域の児童や保護者とのスポーツ交流等による被災地復興支援を目的に、若手アスリートとともに被災地で様々な活動を行っています。



福島県や熊本県を訪問し、小学校の運動会への参加やイベントなどを実施



8 みんなで創る東京2020

2021年に向けて、東京2020大会を身近に感じることができる多彩なイベントが行われます。みんなで参加し、一体感のある楽しい大会を、一緒に創り上げていきましょう。

2013.9.7
東京2020大会開催決定！



©Getty Images
IOC ログ会長（当時）による発表

2016.8-9
リオ2016大会 フラッグハンドオーバー

リオ2016大会閉会式で、次回開催都市である東京都が、オリンピックフラッグ・パラリンピックフラッグを引き継ぎました。



オリンピックフラッグ



パラリンピックフラッグ

2016

2017

2018

2019

2020

東京2020大会へ
2021

東京2020参画プログラム ▶ p.22

都市鉱山からつくる！
みんなのメダルプロジェクト ▶ p.26

東京2020オリンピック・
パラリンピックフラッグツアー

オリンピックフラッグ・パラリンピックフラッグは、都内、被災地を経て、全国を巡回しました。



フラッグツアー（小笠原村）

東京2020マスコット

大会史上初となる小学生の投票で決まった東京2020マスコット。投票には、海外の日本人学校などを含め、16,769の小学校に参加いただきました。



東京2020マスコット発表会

ボランティア募集

東京2020大会の顔となるボランティアには、多くの方々からの応募がありました。これまでにオリエンテーションや研修が実施されています。



オンライン研修の様子

カウントダウンイベント

大会開幕までの節目ごとに、カウントダウンのイベントを実施しています。東京2020オリンピックの1年前には、大会を目指す全てのアスリートへのエール、大会を支えてくださる全ての人々への感謝・敬意をこめたメッセージをオリンピックスタジアムから世界に向けて発信しました。



安全・安心な大会開催に向けた新型コロナウイルス対策 ▶ p.20

聖火リレー ▶ p.21



東京2020 NIPPON
フェスティバル ▶ p.24

大規模展示物（スペクタキュラー）

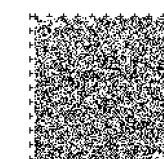
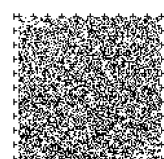
スペクタキュラーとは、大会中に展示されるオリンピックやパラリンピックシンボル等の大規模装飾です。お台場海浜公園や高尾山、東京都庁などにオリンピック・パラリンピックシンボルが設置されています。



高尾山のオリンピックシンボル



パラリンピックシンボル



9 安全・安心な大会に向けた新型コロナウイルス対策

東京2020組織委員会は、東京2020大会を安全・安心に開催するべく、国、東京都、国際オリンピック委員会（IOC）、国際パラリンピック委員会（IPC）など各ステークホルダーと緊密な連携を行い、新型コロナウイルス感染症対策に取り組んでいます。



<https://olympics.com/tokyo-2020/ja/news/road-to-2020>

大会関係者向けプレイブック（ルールブック）

東京2020大会「プレイブック」は、安全・安心な大会に向けた感染症対策ルールブックとして、IOC、IPC、WHO、また第三者である世界中の専門家・機関からの助言と、コロナ禍の中で開催された、世界中の国際的なスポーツイベントからの学びを参考にして作成されました。

東京2020大会において、参加者が遵守すべき新型コロナウイルス感染症対策上のルールが記載されています。

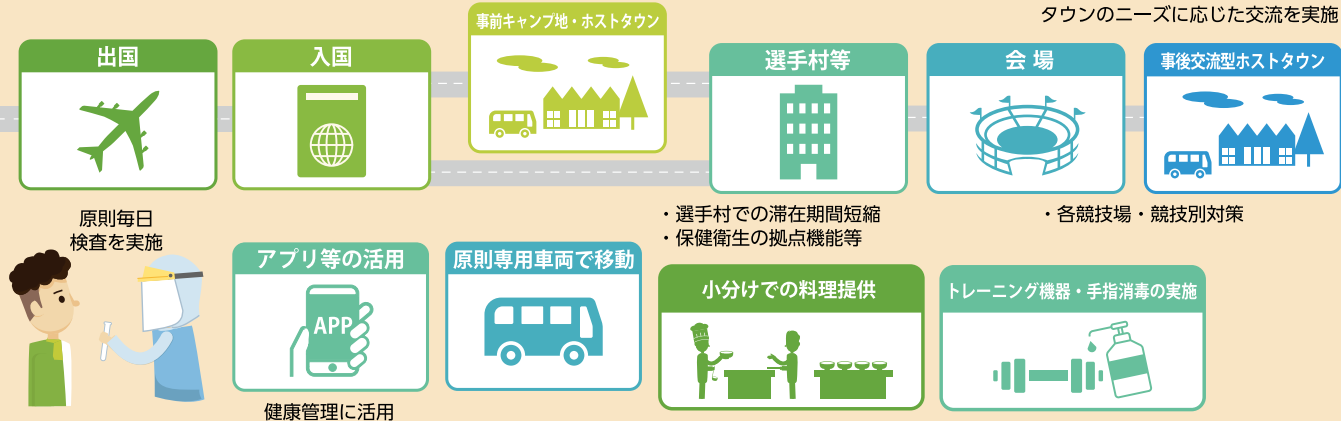


主な取組

- 飛沫感染防止 ● 3密の回避 ● 消毒の徹底 ● 体調不良者発生時の対応 ● アプリ等による健康管理・行動管理 ● アスリート、大会関係者、ボランティア、観客に関する対策 ● 聖火リレー、ホストタウン、事前キャンプにおける対策 等

入国から出国までの環境整備（アスリート等）

感染防止策を講じた上で、各ホストタウンのニーズに応じた交流を実施



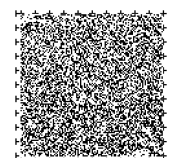
<https://olympics.com/tokyo-2020/ja/spectators/covid-restrictions>

観客向け新型コロナウイルス感染症対策ガイドライン

安全・安心に観戦を楽しんでいただくために、観客の方を対象とするガイドラインを作成しています。

主な取組

- 待機列でのフィジカル・ディスタンス確保 ● 不必要な回遊の回避等、会場内での注意事項 ● 大声の禁止等の応援時の注意事項 ● 行き帰りについて、直行直帰のお願い 等



対策の一例



10 聖火リレー

オリンピック聖火リレー

<https://olympics.com/tokyo-2020/ja/torch/>



東京2020オリンピック聖火リレーは、「Hope Lights Our Way/希望の道を、つなごう。」のコンセプトのもと、桜の季節の訪れとともに、2021年3月25日に福島県を出発し、以降日本全国47都道府県を回る全国参加型リレーです。

世界遺産や名所・旧跡・地域の人に愛されている場所など、各地域の魅力あふれる場所で、聖火リレーを実施します。移動日を含む121日間を通じて、喜びや情熱をつなげます。

東京2020聖火リレートーチ

東京2020聖火リレートーチは、日本人に最もなじみ深い花である桜をモチーフとしています。オリンピックトーチの色は「桜ゴールド」、パラリンピックトーチは「桜ピンク」です。トーチを上部から見ると桜の形をしており、5枚の花びらから生まれた炎がトーチ中央でひとつになる設計となっています。トーチの素材の一部には、東日本大震災の復興仮設住宅のアルミ建築廃材を再利用※しています。人々の生活を見守ってきた仮設住宅が、平和のシンボルとしてトーチに姿を変え、一歩ずつ復興に向けて進む被災地の姿を世界に伝えます。

※トーチに用いられている再利用アルミの含有率は約30%です。

グランドスタート



東京2020オリンピック聖火リレーのグランドスタートが2021年3月25日、福島県にあるナショナルトレーニングセンター「ヴィレッジ」で行われました。

2011年のFIFA女子ワールドカップで優勝したサッカー女子日本代表「なでしこジャパン」のメンバーが、第一走者としてグランドスタートの聖火ランナーを務めました。

パラリンピック聖火リレー

<https://olympics.com/tokyo-2020/ja/paralympics/torch/>

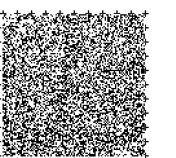


東京2020パラリンピック聖火リレーは、オリンピック終了後、「Share Your Light/あなたは、きっと、誰かの光だ。」のコンセプトのもと、2021年8月12日から8月24日のパラリンピック開会式までの移行期間に開催します。

原則として「はじめて出会う3人」が1組のチームとなりリレーを行います。このリレーをきっかけとして生まれた新しい出会いが、共生社会へつながる新しい気づきを与えてくれることを期待させてくれます。

復興の火

復興の火は、2020年3月20日から3月25日までの間、東日本大震災の復興に尽力している被災地の方々に向け、宮城県、岩手県、福島県の順番で展示しました。



11 東京2020大会に参加する

東京2020 参画プログラム

詳しくはこちら



<https://participation.tokyo2020.jp/jp/>

東京2020大会をオールジャパンで盛り上げていくため、全国で大会に関連する多くの企画・イベントを行い、一人でも多くの方に大会に参画していただくとともに、東京2020大会をきっかけにした成果を未来へつなげるためのプログラムです。

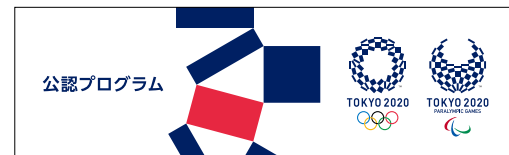
また東京2020大会は、スポーツの大会としてだけではなく、大会以降も様々な分野でポジティブなレガシーを残すため、以下の8つの分野を対象としています。国・東京都・大会パートナーだけではなく、広く多くの非営利団体の方々もプログラムに参加できる枠組みとなっています。

■ プログラムにおける8つのテーマ～8つのテーマで、みんなをつなぐ、動かす、そして未来へ～

楽しく体を動かそう スポーツ・健康	みんなに優しい都市に 街づくり	未来につなげよう 持続可能性	新しい日本を発見 文化
新たな自分を見つけよう 教育	日本の最先端の技術を発信 経済・テクノロジー	今こそ絆を深めよう 復興	みんなの想いをひとつに! オールジャパン・世界への発信

参画プログラムマーク

参画プログラムに認証された事業・イベントには、東京2020エンブレムの基礎となっている、「多様性」「つながる」「参加」を表す「3つの異なる四角形」を組み合わせたマークが付与されます。



公認プログラムマーク



応援プログラムマーク

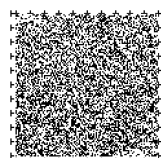
これまでも全国津々浦々で様々な東京2020関連イベントが開催されています。



東京2020 Let's 55 (レッツゴーゴー)
競技体験プロジェクトの様子



連携協定を締結している大学における学園祭の様子



大会ボランティア「Field Cast」

フィールド キャスト

詳しくはこちら



<https://olympics.com/tokyo-2020/ja/games/volunteer/>

主に大会開催前後及び期間中、競技会場や選手村などの大会関係施設で、選手や大会関係者に対する、会場内での案内・誘導など、大会運営をサポートする役割を果たします。合計で204,680人もの応募がありました。また、応募者による投票により、ネーミングを「Field Cast (フィールド キャスト)」に決定いたしました。大会本番に向けて、各地でオリエンテーションや研修が実施されています。



都市ボランティア「City Cast」

シティ キャスト

詳しくはこちら



<https://www.city-volunteer.metro.tokyo.lg.jp>

東京都及び競技会場を有する自治体が運営を行う都市ボランティアは、大会期間中、開催都市の顔として観客をお迎えし、競技会場の最寄駅周辺における観客案内のほか、主要駅等における交通案内等の活動を行います。応募者による投票により、ネーミングを「City Cast (シティ キャスト)」に決定いたしました。



詳しくはこちら



シティドレッシング

<https://www.2020games.metro.tokyo.lg.jp/special/enjoy/spot/exhibition/>

大会開催にあたり、都内の道路、空港、駅等を統一的なデザインのフラッグやバナー等で効果的に装飾し、大会の雰囲気を高めています。

■ 装飾箇所

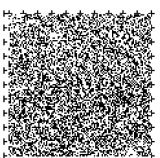
- ・主要幹線道路や、競技会場等の周辺道路にある街路灯に、大会ルックを用いたフラッグを掲出
- ・競技会場等の周辺道路にある配電用地上機器に、大会ルックを用いた装飾を実施
- ・駅から競技会場に至る道のりを、大会ルックを用いた街路灯フラッグやバナー等で装飾
- ・羽田空港（国際線の到着動線）
- ・東京国際クルーズターミナルの館内



オリンピックスタジアム周辺



渋谷駅



12 文化プログラム

東京2020 NIPPON フェスティバル

<https://olympics.com/tokyo-2020/ja/events/nippon-festival/>

オリンピック・パラリンピックはスポーツの祭典であるとともに、文化の祭典でもあります。東京2020組織委員会は、東京2020参画プログラムの集大成として、「東京2020 NIPPON フェスティバル」を展開します。世界の注目が東京・日本へ集まるこの時に、日本の誇る文化を国内外に強く発信します。東京2020組織委員会が主催の3つの文化プログラムと、自治体等と共催で行う特別な文化プログラムがあります。



東京2020
NIPPON
フェスティバル

■キャッチフレーズ

Blooming of Culture

文化は、出会いから花開く。

■東京2020組織委員会が主催する3つの文化プログラム

テーマ：参加と交流
わっさい Wassai

それは輪になることで和を生みだす特別なお祭り。オンライン上の日本の文化体験を通して、新しい出会いをお届けします。



テーマ：共生社会の実現に向けて
ONE -Our New Episode-
Presented by Japan Airlines

一人ひとり個性も特徴も違うが、みんな同じ鼓動を持った同じ人間。多くの人たちが参加する「共生・多様性」を可視化、体験化できるコンテンツを展開します。



テーマ：東北復興
しあわせはこぶ旅
モッコが復興を歩む東北からTOKYOへ
Presented by ENEOS

2021年5月から7月にかけて、東北各地と東京を舞台にプログラムを展開。この企画のために作られた巨大人形(モッコ)が東北各地を巡り、東北の人々からのメッセージを預かり、TOKYOを目指し旅を続けます。



ー 東京都の取組 ー Tokyo Tokyo FESTIVAL

東京都では、前回のリオ2016大会以降、東京2020大会に向けて各文化事業を「東京文化プログラム」として展開してきました。

今後の更なる気運醸成のため、これまで「東京文化プログラム」として実施していた各事業を、新たに「Tokyo Tokyo FESTIVAL」としてプロモーションを展開し、国内外への発信力と拡散力の強化を図るとともに、ブランディングに向けて取り組んでいきます。



<http://tokyotokyofestival.jp/>

東京2020 公式アートポスター

<https://olympics.com/tokyo-2020/ja/games/games-artposter/>



野老 朝雄 (芸術家)
HARMONIZED
CHEQUERED EMBLEM
STUDY FOR TOKYO 2020
OLYMPIC GAMES
[EVEN EDGED MATTERS
COULD FORM
HARMONIZED CIRCLE
WITH "RULE"]



GOO CHOKI PAR
(グラフィックデザイナー)
パラリンピアン

公式アートポスターとは、オリンピック・パラリンピックというスポーツ・文化イベントへの認知と理解を促進するために開催都市の組織委員会が制作し、各大会の特色を世界に伝える役割を果たすものです。

東京2020大会では、絵画、グラフィックデザイン、写真のほか、日本が世界に誇る文化である漫画や書など広範なジャンルのアーティストが、合計20作品の公式アートポスターを新たに制作しました。

13 テクノロジー

東京2020大会では、大会ビジョンである「史上最もイノベティブで、世界にポジティブな改革をもたらす大会」を実現するために様々な取組を実施しています。

■東京2020 ロボットプロジェクト

ロボットが大会期間中に様々な場面で人々に寄り添い、役に立つ姿を見せるとともに、大会を契機としたロボットの社会実装の推進に繋げることを目的にプロジェクトを進めています。

詳しくはこちら



<https://olympics.com/tokyo-2020/ja/games/vision-innovation/>



東京2020マスコットロボット ミライトワ/ソメイティ

■デジタルトランスフォーメーション(DX)の推進

5Gを活用した会場運営など、東京2020大会を先端技術のショーケースとすることで大会を契機にDXの推進を加速していきます。



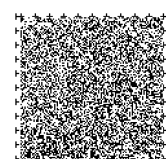
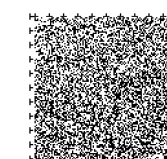
会場入場時の顔認証システム



5G等、快適な観戦に向けた通信環境の提供



無料Wi-Fiの設置



14 持続可能性

東京 2020 大会の持続可能性とは

日本は、気候変動や天然資源の枯渇、差別等の人権問題等、持続可能性に関する世界共通の課題に直面しています。東京 2020 大会は、「Be better, together / より良い未来へ、ともに進もう。」をコンセプトとし、持続可能な社会の実現に向け、課題解決のモデルを国内外に示していきます。

また、地球及び人間の未来を見据え、国連の「持続可能な開発目標（SDGs）」に貢献するとともに、将来の大会や国内外に広く継承されるよう取り組んでいきます。

The Sustainability Concept of the Tokyo 2020 Games
Be better, together

より良い未来へ、ともに進もう。 For the planet and the people



2015年9月に国連で採択された、17の持続可能な開発目標

詳しくはこちら



都市鉱山からつくる! みんなのメダルプロジェクト

<https://olympics.com/tokyo-2020/ja/games/medals-project/>

東京 2020 大会でアスリートに授与される全てのメダルは、みなさまから回収した使用済み携帯電話等の小型家電から金属を集めて制作されました。2017年4月から2019年3月までの2年間で、オリンピック・パラリンピックの金・銀・銅あわせて約5,000個のメダルに必要な金属量を100%回収することができました。このプロジェクトにより、小型家電のリサイクルの定着と環境にやさしい持続可能な社会が東京 2020 大会のレガシーとなることを目指します。



東京 2020 オリンピックメダル



東京 2020 パラリンピックメダル

詳しくはこちら



日本の木材活用リレー

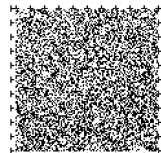
<https://olympics.com/tokyo-2020/ja/games/sustainability/village>



オールジャパンで大会を盛り上げるとともに、環境に配慮した持続可能な大会を実現するために、全国の木材を無償で借り受けて選手村ビレッジプラザを建築し、大会後に解体された木材をレガシーとして各地の公共施設等で活用するプロジェクトです。

公募の結果、北海道から九州地方まで63自治体を事業協力者として決定しました。

各地域の木材を建物の様々な箇所に使用することで、多様性と調和を表現するとともに、環境負荷を低減します。



水素エネルギーの活用

東京 2020 大会で使用する車両に、燃料電池自動車（FCV）を導入するほか、聖火台および聖火リレートーチに大会史上初めて水素を活用します。また、東京都の取組として、選手村内の一部施設のエネルギー源として、水素エネルギーを活用します。大会を通じて、「水素社会」の実現に貢献していきます。



水素トーチ断面図

カーボンオフセットの取組

東京 2020 大会の運営等のために排出されるCO₂のうち、対策を講じて発生することが避けられないCO₂については、クレジットによるカーボンオフセットを実施します。東京都及び埼玉県との協力によるクレジット募集の結果、217事業者から438万t-CO₂が東京 2020 組織委員会に渡されました。これにより、大会での排出量以上のオフセットができる見込みで、東京 2020 大会はカーボンマイナス大会となります。



カーボンオフセットクレジット受渡式

再生可能エネルギーの利用

大会運営電力の再エネ電気100%という目標に向けて、東京 2020 組織委員会が直接調達する電気については、再エネ電気を利用します。

一方で、会場における従来の契約等により、再エネ電気を受電が困難な部分については、グリーン電力証書で電気を再エネ化します。また、東京都が整備する恒久会場では、再エネ比率が高くCO₂排出のできるだけ少ない電気の調達を進めています。

詳しくはこちら



<https://olympics.com/tokyo-2020/ja/games/diversity-inclusion/>

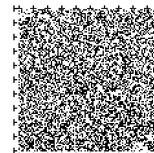
ダイバーシティ&インクルージョン

東京 2020 大会では、「Know Differences, Show Differences. ちがいを知り、ちがいを示す。」のアクションワードのもと、ダイバーシティ&インクルージョン（D&I）の視点を重視して、大会の準備・運営を進めています。

ダイバーシティは「多様性」「一人ひとりのちがい」、インクルージョンは「包括・包含」「受け入れる・活かす」という意味を持ちます。多様性は、年齢、人種や国籍、心身機能、性別、性的指向、性自認、宗教・信条や価値観だけでなく、キャリアや経験、働き方、企業文化、ライフスタイルなど多岐に渡ります。ダイバーシティ&インクルージョンとは、多様な個性を持つ人がお互いの違いを理解し、お互いに認め合い、差別やハラスメントを受けずに誰もがいきいきと活躍できることです。

**Know Differences,
Show Differences.**

ちがいを知り、ちがいを示す。



スムーズビズ — 東京都の取組 —

東京都は、全ての人々がいきいきと働き、活躍できる社会の実現に向け、東京2020大会の交通混雑緩和に向けた交通需要マネジメント（TDM）※やテレワーク、時差Bizなどの取組を「スムーズビズ」と総称し、一体的に推進しています。

企業や、そこで働く皆様に対し、テレワークや時差出勤、計画的な休暇の取得、業務に関連する配送の工夫など、働き方改革と大会時の交通混雑緩和の双方に効果のある取組の実施を働きかけ、大会期間中の混雑緩和はもとより、新しいワークスタイルや企業活動の東京モデルの確立を目指しています。

※TDMとは、交通需要マネジメントのことで、自動車の効率的利用や公共交通への利用転換などによる道路の混雑緩和や、鉄道などの公共交通も含めた交通需要調整をする取組のことを言います。

- **テレワーク**
ICTを活用した、場所や時間にとらわれない柔軟な働き方のこと
- **時差Biz**
通勤ラッシュ回避のために通勤時間をずらす働き方改革のひとつ
- **2020TDM**
大会開催期間中における交通混雑緩和に向けた交通需要マネジメント



2020TDM推進プロジェクト

2018年8月に、東京都、国、東京2020組織委員会は、東京2020大会開催期間中における交通混雑緩和に向けた交通需要マネジメント（TDM）を推進する「2020TDM推進プロジェクト」を発足させました。

TDMの推進に向けては、企業を対象とした説明会や個別コンサルティング等を実施しています。

また、本プロジェクトではシンボルマークを作成しています。プロジェクトにご登録いただいた全ての企業が使用できます。



プロジェクト発足式

物流TDM実行協議会

2020年1月に、東京都は物流におけるTDMの着実な実施のため、関係団体、国、東京2020組織委員会の実務担当で構成される「2020物流TDM実行協議会」を設立しました。

協議会では物流TDMの推進に向けて、主に、中小企業や商店街事業主等を対象とした周知、個別コンサルティングや勉強会を実施しています

東京2020教育プログラム「ようい、ドン！」

オリンピック・パラリンピックはチャレンジ精神やフェアプレー精神などのスポーツの価値を理解したり、障がいのある方や海外の文化などの多様性に関する理解を深めるきっかけになるなど、将来、国際社会や地域社会で活動していくための貴重な機会となります。東京2020組織委員会は、東京2020大会が子どもたちにとってかけがえのない財産となるように、日本全国の学校等に向けて教育プログラムを実施しています。

オリンピック・パラリンピック教育実施校の認証（2021年5月1日現在、国内外の18,947校を認証）、関連教材の配布、アスリート・東京2020マスコット等との交流の機会や競技体験イベントの提供等を通して、子どもたちにかけがえのない経験を届けます。

オリンピック・パラリンピック関連教材とは

オリンピックの価値（「努力から得られる喜び」「フェアプレー」「他者への敬意」「卓越性の追求」「肉体、意思、精神のバランス」）や、パラリンピックの価値（「勇気」「強い意志」「インスピレーション」「公平」）を学べる教材を、ウェブサイトで配布しています。

東京2020教育プログラム特設サイト「TOKYO 2020 for KIDS」

（学校・教育委員会向けページ）
<https://education.tokyo2020.org/jp/>

東京都オリンピック・パラリンピック教育

<https://www.o.p.edu.metro.tokyo.jp/about-education>



東京2020マスコットの学校訪問（福岡教育大学附属福岡小学校）

ハード・ソフト両面のレガシーの創出

2020年に向けた東京都の取組-大会後のレガシーを見据えて-

<https://www.2020games.metro.tokyo.lg.jp/taikaijunbi/torikumi/legacy/>

東京1964大会では、東海道新幹線や首都高速道路等のハード面のレガシーだけでなく、ピクトグラムの誕生、冷凍食品の技術開発の進展等のソフト面のレガシーが生まれ、成熟社会の礎となりました。

東京2020大会では、成熟社会として新たな進化を遂げるため、誰もが優しさを感じられるバリアフリーのまちづくりやスポーツを通じた健康づくり、世界をリードする環境先進都市の実現、芸術文化の世界への発信など、ハード・ソフト両面のレガシー創出に向けた取組に力を入れ、価値あるレガシーを残していきます。

「サステナブル・リカバリー」— 東京都の取組 —

1964年の東京大会は、首都高速道路や東海道新幹線の整備が進むなど、都市に大きな変革をもたらしました。

そして迎える東京2020大会では、バリアフリー化や多言語対応など、誰もがやさしさを感じられるまちづくりや、使用済み携帯電話を寄付してメダルを製作するプロジェクトなど、持続可能性に配慮した取組を進めてきました。

東京都は、コロナ禍を乗り越えて開催するこの大会を「サステナブル・リカバリー」を目指すオリンピック・パラリンピックの新たなモデルとして成功させ、都市のレガシーとして継承、発展させていきます。

コラム

オリンピック・パラリンピックのことをもっと深く知ろう

オリンピックの意義 ～参加することに意義がある～



クーベルタン男爵
©フォート・キシモト

近代オリンピックの父と呼ばれている、クーベルタンの格言として有名な「オリンピックで重要なことは勝つことではなく参加することである」という言葉は、彼の格言ではありません。

ロンドン1908大会当時行われていた綱引き競技をはじめ、多くの種目で英米両チームが対立していました。そのためセントポール大聖堂において、礼拝に参加した選手達を前に、ペンシルバニアのエチューバード・エルボット主教が、「オリンピックの理想は人間をつくることであり、オリンピックに参加することは人と付き合うこと、すなわち世界平和の意味を含んでいる」と戒めの言葉を述べました。

同様に考えていたクーベルタンは主教の言葉に感動して、英政府主催の晩餐会で主教の言葉を引用し、「人生にとって大切なことは成功することではなく努力することである」と付け加えました。

以後、この言葉はオリンピックの理想を表現するクーベルタンの格言として知られるようになりました。

聖火リレーのはじまり



採火式

近代オリンピックでは、パリ1924大会まで聖火はありませんでした。

アムステルダム1928大会の際、スタジアムの外に塔を設置し、そこに火を灯し続けるという案が採用されたことが契機となり、現在のような聖火が誕生しました。

聖火は、大会の数か月前に古代オリンピックの聖地であるオリンピアの遺跡ヘラ神殿前で採火され、多くの人によって開催地まで運ばれ、開会式当日、最終ランナーによってメインスタジアムの聖火台に点火され、大会が終わるまで灯し続けられます。



東京1964大会の最終聖火ランナー
©フォート・キシモト

東京1964大会では、様々な議論の末、最終ランナーを若い選手に任せることになりました。

選ばれたのは、1945年8月6日、広島に原爆が投下された日に広島郊外で生まれた19歳の坂井義則氏でした。当時、早稲田大学の競走部に所属していた坂井氏は、目指していたオリンピック選手にはなれなかったものの、開会式での大役を果たしました。

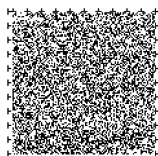
オリンピックのシンボル



オリンピックの五輪マークは五つの輪が重なっています。これは世界五大陸（南北アメリカ・ヨーロッパ・アフリカ・アジア・オセアニア）を表しています。

全世界の人たちが平和の精神のもと、スポーツで手をつなぎ合おうという意味があります。

また青、黄、黒、緑、赤の色は地色の白を加えると、世界の国旗のほとんどを描くことができるという理由で選んだと、考案者であるクーベルタン男爵は書き残しています。



パラリンピックの意義と価値



パラリンピックは、様々な障がいのあるアスリートが公平に能力を発揮し活躍できる世界最高峰の競技大会です。できないことに着目するのではなく、「どうしたらできるか」の視点で創意工夫し、想像を超える競技パフォーマンスを発揮するパラリンピアンは、人々の心を揺さぶり、障がいに対する認識を変え、共生社会の実現へと誘います。

国際パラリンピック委員会(IPC)は、パラリンピアンに秘められた力こそが、パラリンピックの象徴であるとし、「勇気」「強い意志」「インスピレーション」「公平」という四つの価値を重視しています。

パラリンピックと日本



ルードウィッヒ・グットマン卿
©フォート・キシモト

ストーク・マンデビル病院（イギリス）の医師であったルードウィッヒ・グットマンは、第二次世界大戦で脊髄に損傷を受けた兵士を治療する際にスポーツを取り入れる方法を用いました。

ロンドン1948大会の開会式の日に、グットマンは病院内で16人の車いす使用者によるアーチェリーの競技大会を開催しました。この競技会が、後のパラリンピックへと育っていき、1960年にはオリンピックの開催されたローマで国際ストーク・マンデビル大会が開催されました（23か国・400名が参加）。この大会は、1989年のIPC設立後に第1回パラリンピックと位置づけられています。

そして1964年の国際身体障害者スポーツ大会は、東京オリンピック直後に2部制で開催されました。第1部は、ローマ1960大会に続く国際ストーク・マンデビル大会であり、後に第2回パラリンピックと位置づけられました（21か国・378名が参加）。そして第2部は、すべての身体障がい者と西ドイツの招待選手による国内大会として開催されました（481名が参加）。

「パラリンピック」という名称は、東京1964大会で愛称として使われました。当初は車いす使用者を対象とした大会だったので、下半身まひを表すパラプレジア（Paraplegia）の「パラ」という意味が込められていました。

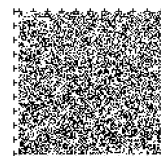
その後、トロント1976大会以降、車いす使用者以外の障がい者も参加するようになったことから、現在では「沿う」、「並行」という意味のパラレル（parallel）の「パラ」と解釈されるようになりました。

パラリンピックのシンボル



パラリンピックのシンボルは1989年のIPC設立後に制作され、リレハンメル1994大会から使用されました。

そして、アテネ2004大会から現在のシンボルに変更されました。このシンボルマークは「スリーアギトス」と呼ばれています。「アギト」とは、ラテン語で「私は動く」という意味で、困難なことがあってもあきらめずに、限界に挑戦し続けるパラリンピアンを表現しています。青・赤・緑の三色は、世界の国旗で最も多く使用されている色ということで選ばれました。



東京2020大会マーケティングパートナー

東京2020大会は、IOCならびに東京2020のスポンサーシッププログラムに基づき、大会運営等に不可欠な専門的ノウハウ、商品・サービス及び資金を提供頂いております。

The Worldwide Olympic Partners



Tokyo 2020 Olympic Gold Partners



Tokyo 2020 Olympic Official Partners



The Worldwide Paralympic Partners



Tokyo 2020 Paralympic Gold Partners



Tokyo 2020 Paralympic Official Partners



東京2020公式ライセンス商品等を多数取り扱っています。

東京2020
オフィシャルオンラインショップ



<https://tokyo2020shop.jp/>

東京2020
オフィシャルショップ



https://tokyo2020shop.jp/contents/official_shop

お問い合わせ先：東京2020公式ライセンス商品カスタマーセンター
TEL 03-3520-9200
受付時間 10:00 ~ 18:00 (土日祝日を除く)



編集・発行

公益財団法人東京オリンピック・パラリンピック競技大会組織委員会
東京都オリンピック・パラリンピック準備局

印刷物規格表第1類 印刷番号 (3) 10 / 21TMG0143005 (2021年7月発行)

